

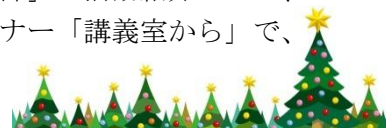
# 金沢大学法学類月報

第14号 2014年12月25日発行

編集・発行：金沢大学法学類広報委員会  
協力：金沢法友会法学類広報プロジェクト



師走の声とともに本格的な雪の季節となりました。本年最終の法学類月報第14号では、中村正人先生のご紹介、公認サークル「模擬国連北陸支部」の活動紹介のほか、法学類の少し毛色が変わった授業を随時レポートする新コーナー「講義室から」で、プロジェクト科目「法実務入門」のもようをお届けします。皆さん、よいお年をお迎えください。



## ◆連載◆ 法学類の先生 第12回 中村正人先生（東洋法制史）

生まれも育ちも金沢で、大学院時代に3年間京都で暮らした以外は、ずっと金沢に住んでいる生粋の金沢人です。金沢大学に着任したのは平成3年（1991年）のことですから、今年で教員生活も23年目となりましたが、学部生・院生として6年間金沢大学に籍を置いていましたので、通算すれば彼此30年近く金沢大学と関わっていることとなります。今ではめっきり数が少なくなった、お城に大学があった時代を知る教員の一人でもあります（もともと、教員として赴任したときは、すでに角間に移転した後でしたが……）。

趣味はゲームで、電源系・非電源系を問わず、たいていのものは好き嫌いなく何でもします（上手いとは言っていない）が、頭が悪いせいなのかパズル系・純粹思考系のゲームは苦手で、あまりやりません。その他にも「メカっぽいもの」が好きで、第1級アマチュア無線技士の資格なども持っていたりします。

私が担当している東洋法制史という科目は、平たく言えば前近代中国の法の歴史を研究する学問ですが、その中でも私が主たる研究対象としているのが、清代の刑法理論に関してで、これまでに正当防衛や錯誤論、過失殺に関する論文等を公表しています。前近代中国法は、現代の日本法とのつながりはほとんどありませんが、日本人の法意識の根底にはその影響が今も色濃く残っています。そんな前近代中国法に多くの人に関心をもってもらえるよう日々奮闘しております。

雪の角間…  
いろいろ





## 模擬国連北陸支部（通称：模擬国）

「模擬国連」は、国際問題について、実際の国連会議の議事進行に則り、各国の大使の立場になって国連会議で扱われている問題について議論するサークルです。一国の代表として自国の国益を追求しつつ、交渉や議論を通して他国と協力、時には妥協し合いながら国際社会全体としての利益（国際益）を追求することが活動の魅力の一つであり、外交や国際政治の面白さや難しさを肌で感じ、国際問題について理解を深めています。

また模擬国連は全国で行われており、東京や神戸、九州で開かれる会議にも参加し、他大学の学生と交流しています。北陸支部も全国から学生の集まる会議を主催しており、今

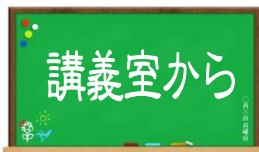
年は 11 月 23 日、24 日に「第 20



回模擬国連会議北陸大会」を開催しました。本大会ではテロ問題について議題を設定し、テロの定義を論点とした「包括的テロ防止条約」、テロの資金供与について論点とした「テロリズムに対する資金供与に関する問題」の 2 つの会議に分かれ交渉や議論を行い、最終的に決議案の採択に至りました。

本大会を通して、テロ問題への理解を深め、改めて問題の難しさを実感することができました。

模擬国連北陸支部長 法学類 3 年 大島健輔



## プロジェクト科目 「法実務入門」

2 年生以上の学生を対象とする「プロジェクト科目」の枠を活用して、本年度後期、新たに「法実務入門」が実験開講されています。

この授業は、法学類と大学院法務研究科（法科大学院）との連携・協力の一環として、北陸三県で活躍されている法務研究科出身の弁護士による法学類生向けのオムニバス講義を、法務研究科にコーディネートして頂くものです。通常の講義科目で抽象的に説明される法解釈論が、現実にはどのように用いられているかを、講師ご自身の事件処理の経験を踏まえて語って頂く場を設けることにより、法学類生に法実務への興味・関心を喚起することを目的としています。本紙が取材に伺った 11 月

25 日には、消費者事件をテーマに富山県弁護士会の谷口央弁護士がクイズも交えた講義をされ、学生は「実務の状況、各弁護士のやっている仕事が垣間見える」「いろいろな事件が取り上げられるので、法実務に対するイメージをふくらませることができる」などと話していました。

なお、2015 年度入学者からこの授業は「法律実務」という 1 年生から履修できる正式の授業科目になる予定です。

法学類広報委員長 福本知行



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、法学類 HP (<http://www.law.kanazawa-u.ac.jp/home/geppo>) に掲載していますのでご覧ください。  
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 法・経済学務係 ([n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp)) までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。